



2026年度 就職先企業アンケートの結果について

本学卒業生の就職先企業等の皆様に、本学卒業生に対する各種評価等にご回答いただくものであり、その結果を育成する人材像の検討、教育の改善や質向上に向けた学内での議論に活用していくことを目的として、下記のとおり「就職先企業アンケート」を実施いたしました。

<2026年度「就職先企業アンケート」> 郵送のみ	(参考)<2025年度「就職先企業アンケート」> メール、郵送
【実施時期】2026年5月27日～7月31日	【実施時期】2025年5月27日～7月31日
【対象者】 本学の卒業生が就職した企業	【対象者】 本学の卒業生が就職した企業
【本アンケートの回答者数】 92社/337社(27.2%)	【本アンケートの回答者数】 138社/361社(38.2%)

2026年度「就職先企業アンケート」設問

Q1.貴社(団体)の職種を選んでください。

Q2.貴社(団体)の所在地を選んでください。
(47都道府県より選択)

Q3.本学の卒業生は、貴社(団体)のニーズに応えていますか。

Q4.一般的に社会人として求められる資質・能力に関する項目です。採用時に、以下の資質・能力について、どの程度重視していますか。それぞれもっともあてはまるものを選んでください。

専門分野に関する知識・理解
将来の仕事につながるような知識・スキル・態度・価値観
文献・資料を収集・分析する力
論理的に文章を書く力
人に分かりやすく話す力
外国語を使う力
数理・統計・データサイエンスに関する知識・技能
問題を見つけて解決方法を考える力
他者と協働する力
幅広い知識、ものの見方
異なる文化に関する知識・理解

とても重視している
どちらかという重視している
どちらかという重視していない
まったく重視していない

Q5.一般的に社会人として求められる資質・能力に関する項目です。以下の資質・能力について、本学の卒業生にもっと身につけてほしい(伸ばしてほしい)と感じますか。それぞれもっともあてはまるものを選んでください。

専門分野に関する知識・理解
将来の仕事につながるような知識・スキル・態度・価値観
文献・資料を収集・分析する力
論理的に文章を書く力
人に分かりやすく話す力
外国語を使う力
数理・統計・データサイエンスに関する知識・技能
問題を見つけて解決方法を考える力
他者と協働する力
幅広い知識、ものの見方
異なる文化に関する知識・理解

とてもそう思う
ある程度そう思う
あまりそう思わない
まったくそう思わない

Q6.以下は、2026年度より本学にて卒業時に身につけるべき資質・能力として設定されている項目です(「ディプロマ・ポリシー」と称するものです)。
採用時に以下の能力についてどの程度重視していますか。もっともあてはまるものを選んでください。

鋭い観察力により、物事の本質を見抜く力(本質を見抜く力)
既成概念にとらわれず、新たなアイディアや価値を生み出す力(発想力・創造力)
発想力・創造力により生み出したアイディアをカタチにする力(設計・構築力)
複雑な事柄について筋道を立てて思考することができる力(論理的思考力)
多様な情報があふれる現代社会において、必要な情報を取捨選択して収集し、分析する能力(情報収集・分析能力)
独創的な表現力により、他者の心に働きかけることができる力(自己表現能力・発信力)
自らの強みを発見・自覚するとともに、自分のキャリア意識を形成し、それを実現する力(自己理解・自己実現力)
芸術表現を深く探求し専門性を高め、自分だけの独創的な表現行為により、他者の心に働きかけ感動を与える力(独創的な芸術表現力)
チームを主導するとともに意見の対立等を調整し、チームで物事を前に進める力(リーダーシップ・調整力)
俯瞰的な視野で社会を見渡し、課題を発見できる能力(課題発見能力)
発見した課題を解決する能力(課題解決能力)
専門知識・技能の修得
専門知識・技能を実社会において応用し、実践することができる力
専門知識・技能を組み合わせる統合し、新たな視点で物事を考える力
文章を正確に読み解く力(文章読解力)
文章でわかりやすく正確に表現する力(文章表現力)
協調性を持ってグループで活動できる力(協調性・協働する力)
社会で求められる基礎的なITスキルの修得(基礎的ITスキル)
自分の考え等について、適切な方法によりわかりやすく簡潔に他者に伝える力(プレゼンテーション能力)
異文化に対する理解力や外国語能力の修得(異文化理解力・外国語能力)
他者の立場に立って物事を考え行動できる力(共感力・相互理解力)
自らを律し、責任感を持って行動する力(規律性・倫理観)
生涯を通じて学び続け、自己研鑽に励むことができる力(自己研鑽力(学び続ける力))

とても重視している
どちらかという重視している
どちらかという重視していない
まったく重視していない

Q7.以下の能力について、今後本学の卒業生にもっと身につけてほしい(伸ばしてほしい)と感じますか。
もっともあてはまるものを選んでください。

鋭い観察力により、物事の本質を見抜く力(本質を見抜く力)
既成概念にとらわれず、新たなアイディアや価値を生み出す力(発想力・創造力)
発想力・創造力により生み出したアイディアをカタチにする力(設計・構築力)
複雑な事柄について筋道を立てて思考することができる力(論理的思考力)
多様な情報があふれる現代社会において、必要な情報を取捨選択して収集し、分析する能力(情報収集・分析能力)
独創的な表現力により、他者の心に働きかけることができる力(自己表現能力・発信力)
自らの強みを発見・自覚するとともに、自分のキャリア意識を形成し、それを実現する力(自己理解・自己実現力)
芸術表現を深く探求し専門性を高め、自分だけの独創的な表現行為により、他者の心に働きかけ感動を与える力(独創的な芸術表現力)
チームを主導するとともに意見の対立等を調整し、チームで物事を前に進める力(リーダーシップ・調整力)
俯瞰的な視野で社会を見渡し、課題を発見できる能力(課題発見能力)
発見した課題を解決する能力(課題解決能力)
専門知識・技能の修得
専門知識・技能を実社会において応用し、実践することができる力
専門知識・技能を組み合わせる統合し、新たな視点で物事を考える力
文章を正確に読み解く力(文章読解力)
文章でわかりやすく正確に表現する力(文章表現力)
協調性を持ってグループで活動できる力(協調性・協働する力)
社会で求められる基礎的なITスキルの修得(基礎的ITスキル)
自分の考え等について、適切な方法によりわかりやすく簡潔に他者に伝える力(プレゼンテーション能力)
異文化に対する理解力や外国語能力の修得(異文化理解力・外国語能力)
他者の立場に立って物事を考え行動できる力(共感力・相互理解力)
自らを律し、責任感を持って行動する力(規律性・倫理観)
生涯を通じて学び続け、自己研鑽に励むことができる力(自己研鑽力(学び続ける力))

とてもそう思う
どちらかというそう思う
どちらかというそう思わない
まったくそう思わない

Q8.新卒採用者に対して(本学卒業生に限らず一般的に)、学生時代に特に経験しておいてほしいと望む事柄は何ですか？
もっともあてはまるものを選んでください。

サークル・部活動
アルバイト
人脈を広げる/深める
ボランティア活動
地域社会に貢献できるプロジェクト活動
資格の勉強
読書
その他(自由記述)

Q9.本学の卒業生が在学中に取得(勉強)しておくことが望ましいと感じる資格等があれば、選んでください。
(複数回答可)

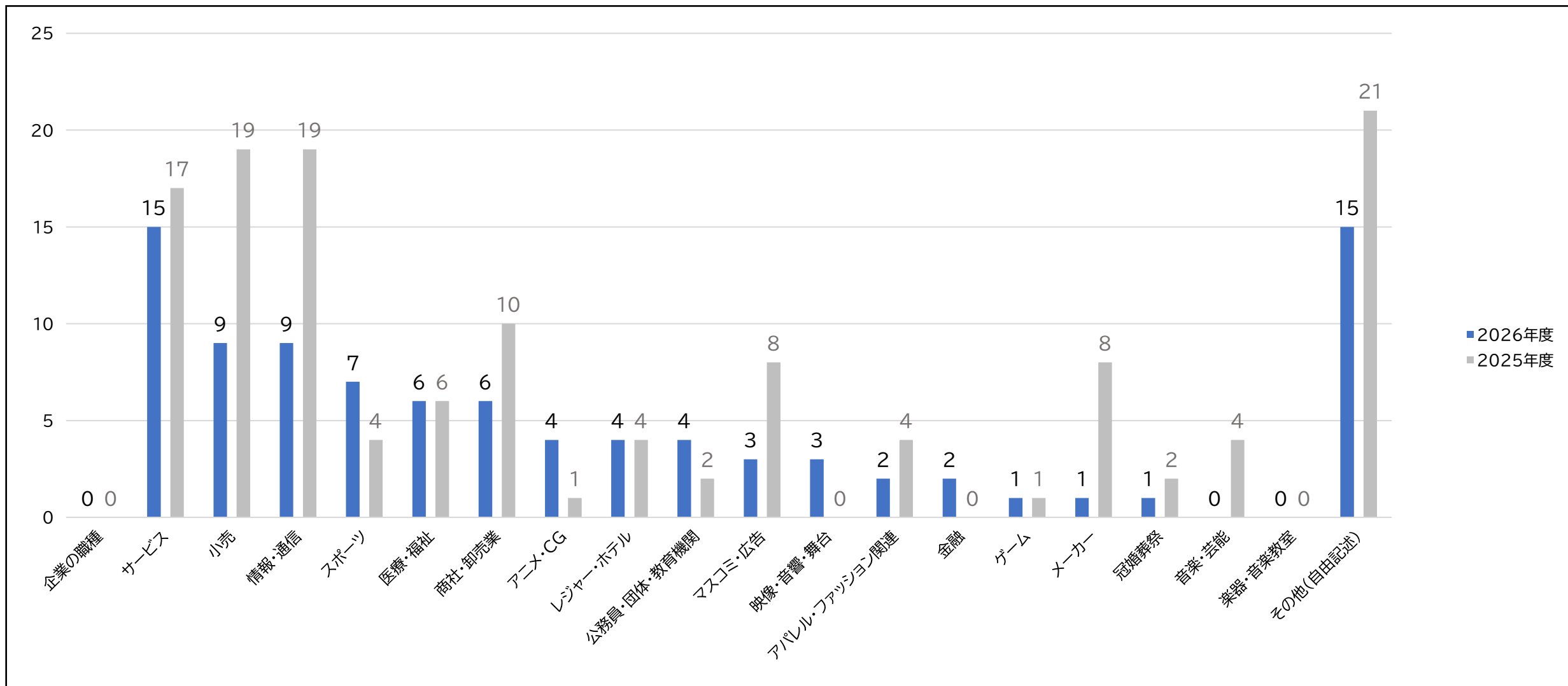
MOS
TOEIC
日商簿記
ITパスポート試験
基本情報技術者試験
ビジネス能力検定
G検定(ジェネラリスト検定)
知的財産管理技能士
秘書検定
ファイナンシャルプランナー
宅地建物取引士
日経TEST(日経経済知力テスト)
販売士
法学検定
ビジネス実務法務検定
特になし
その他(自由記述)



集計結果

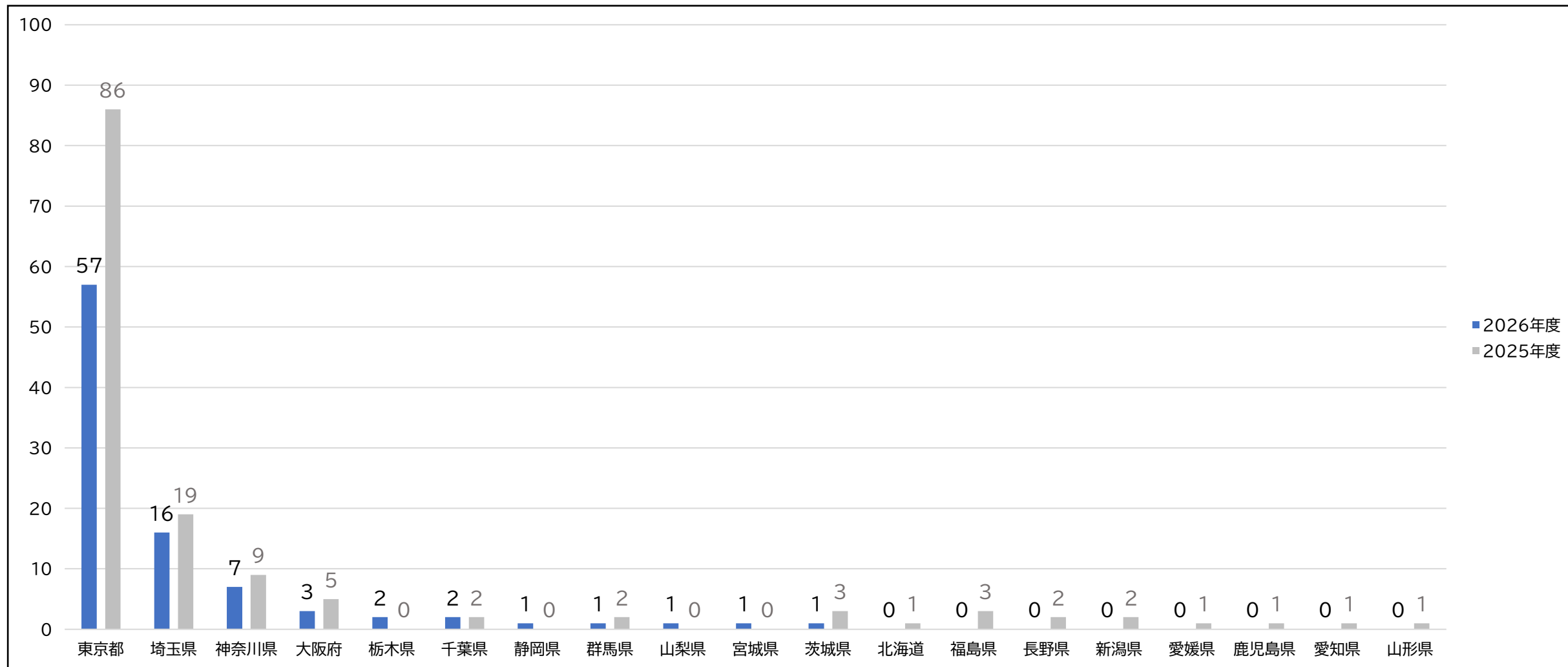
就職先企業【職種】

Q1. 貴社(団体)の職種を選んでください。



就職先企業【所在地】

Q2. 貴社(団体)の所在地を選んでください。
(47都道府県より選択)



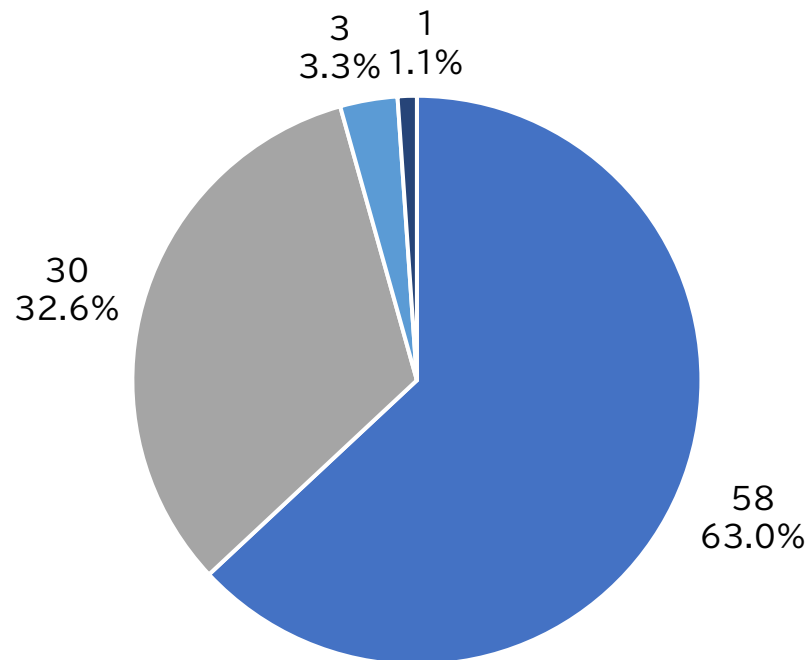
就職先企業【本学卒業生について】

- 十分応えている
- どちらかといえば応えている
- どちらかといえば応えていない
- まったく応えていない

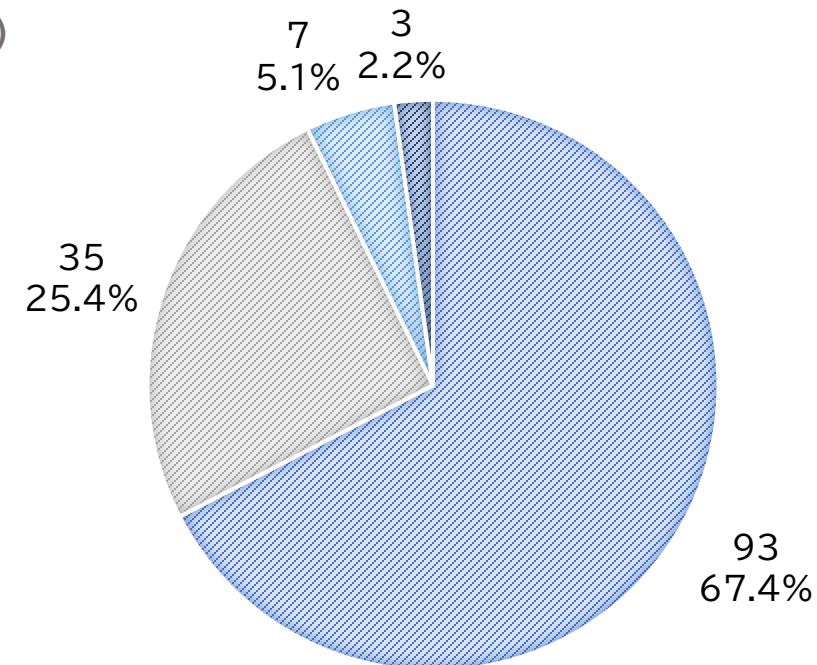
【概要】本学の卒業生が会社のニーズに応えているかについては、肯定的な回答(「十分応えている」又は「どちらかといえば応えている」)が95.6%(昨年度は92.8%)であり、企業からは概ね肯定的に受け止められている。

Q3. 本学の卒業生は、貴社(団体)のニーズに応えていますか。

2026年度
92社(団体)



2025年度
138社(団体)



就職先企業【採用時に重視している能力(一般)】

【概要】採用時に重視している能力については、「他者と協働する力」が3.82と最も平均値が高く、次いで「人に分かりやすく話す力」が3.50、「問題を見つけて解決方法を考える力」が3.25となった。

Q4. 一般的に社会人として求められる資質・能力に関する項目です。採用時に、以下の資質・能力について、どの程度重視していますか。それぞれもっともあてはまるものを選んでください。

〈各項目の平均値を算出〉

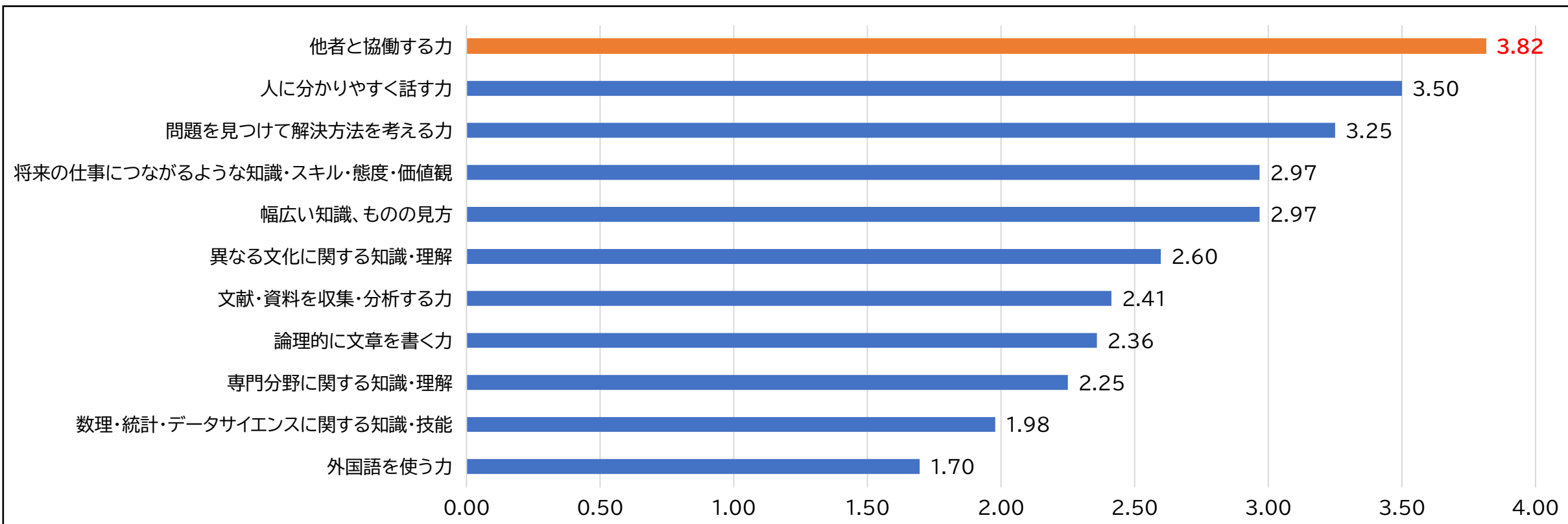
回答状況を1点から4点までに点数化し、回答数で除して、平均値を算出した。

1点:まったく重視していない

2点:どちらかという重視していない

3点:どちらかという重視している

4点:とても重視している



【卒業生にもっと身につけてほしい能力】(一般)

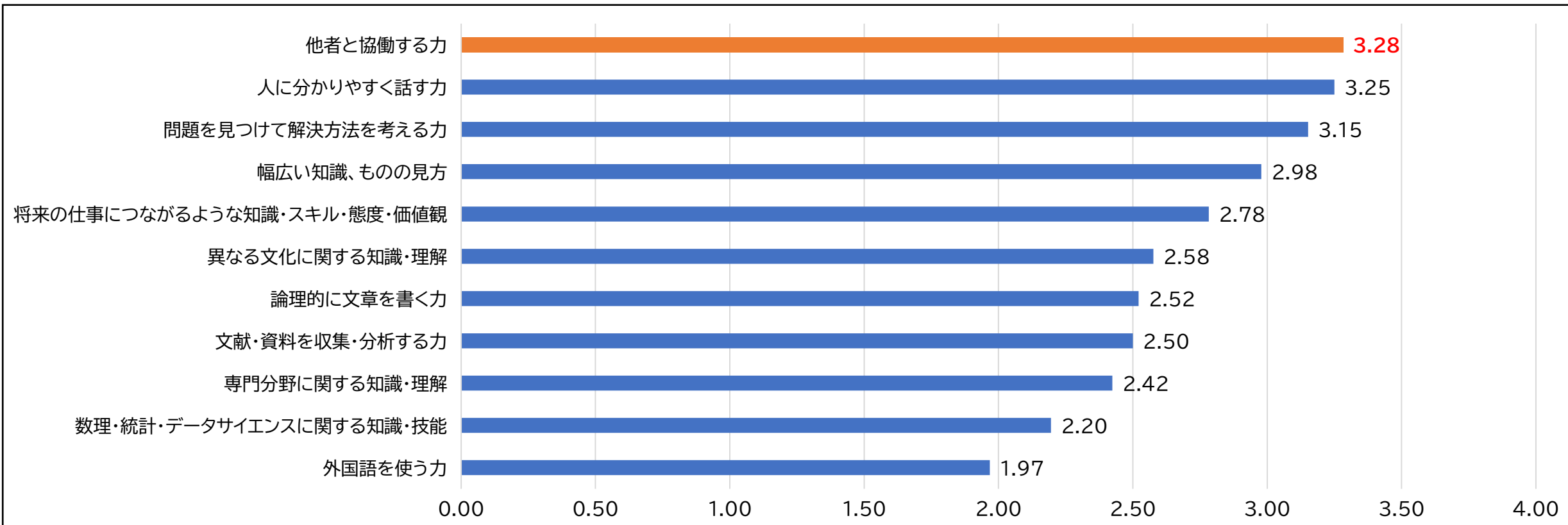
【概要】企業が卒業生にもっと身につけてほしい能力については、「他者と協働する力」が3.28ともっとも平均値が高く、次いで「人に分かりやすく話す力」が3.25、「問題を見つけて解決方法を考える力」が3.15となった。

Q5.一般的に社会人として求められる資質・能力に関する項目です。
以下の資質・能力について、本学の卒業生にもっと身につけてほしい(伸ばしてほしい)と感じますか。
それぞれもっともあてはまるものを選んでください。

〈各項目の平均値を算出〉

回答状況を1点から4点までに点数化し、
回答数で除して、平均値を算出した。

- 1点:まったくそう思わない
- 2点:どちらかというと思わない
- 3点:どちらかというと思う
- 4点:とても思う



就職先企業【採用時に重視している能力】(本学DP)

【概要】本学のDPのうち、企業が採用時に重視している能力については、「協調性・協働する力」が3.71と最も平均値が高く、次いで「規律性・倫理観」が3.55、「共感力・相互理解力」が3.48となった。

Q6. 以下は、2026年度より本学にて卒業時に身につけるべき資質・能力として設定されている項目です（「ディプロマ・ポリシー」と称するものです）。採用時に以下の能力についてどの程度重視していますか。もっともあてはまるものを選んでください。

〈各項目の平均値を算出〉

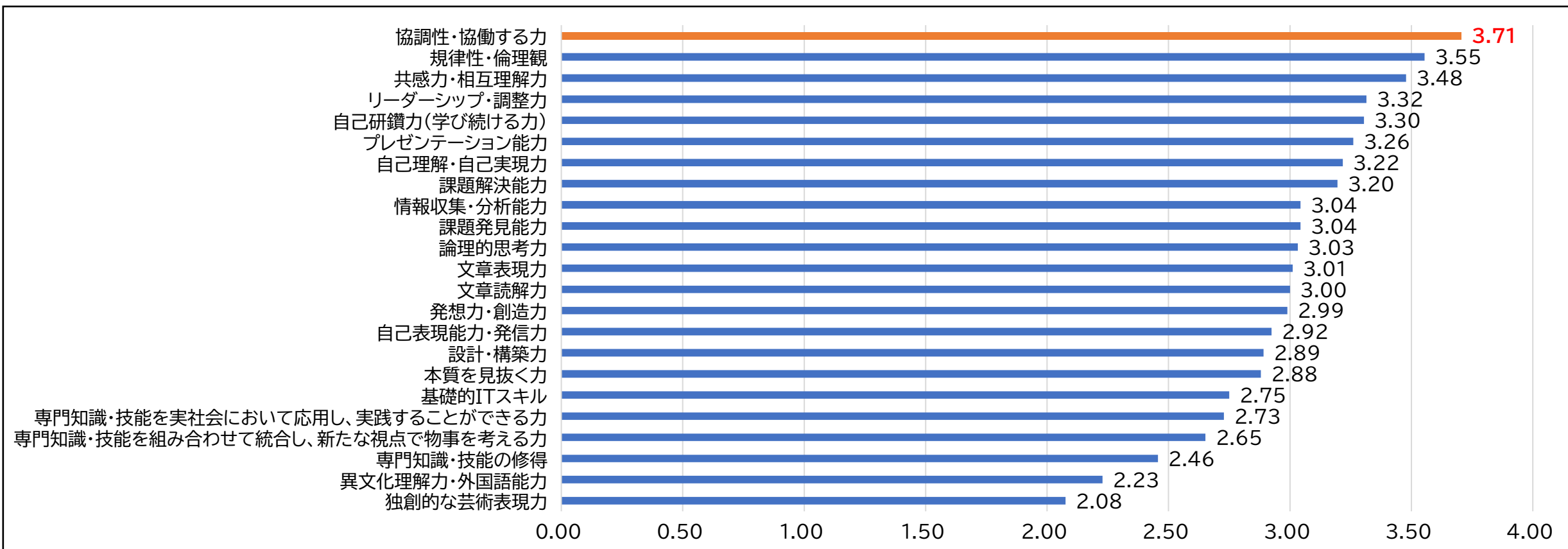
回答状況を1点から4点までに点数化し、回答数で除して、平均値を算出した。

1点:まったく重視していない

2点:どちらかという重視していない

3点:どちらかという重視している

4点:とても重視している



就職先企業 【卒業生にもっと身につけてほしい能力】(本学DP)

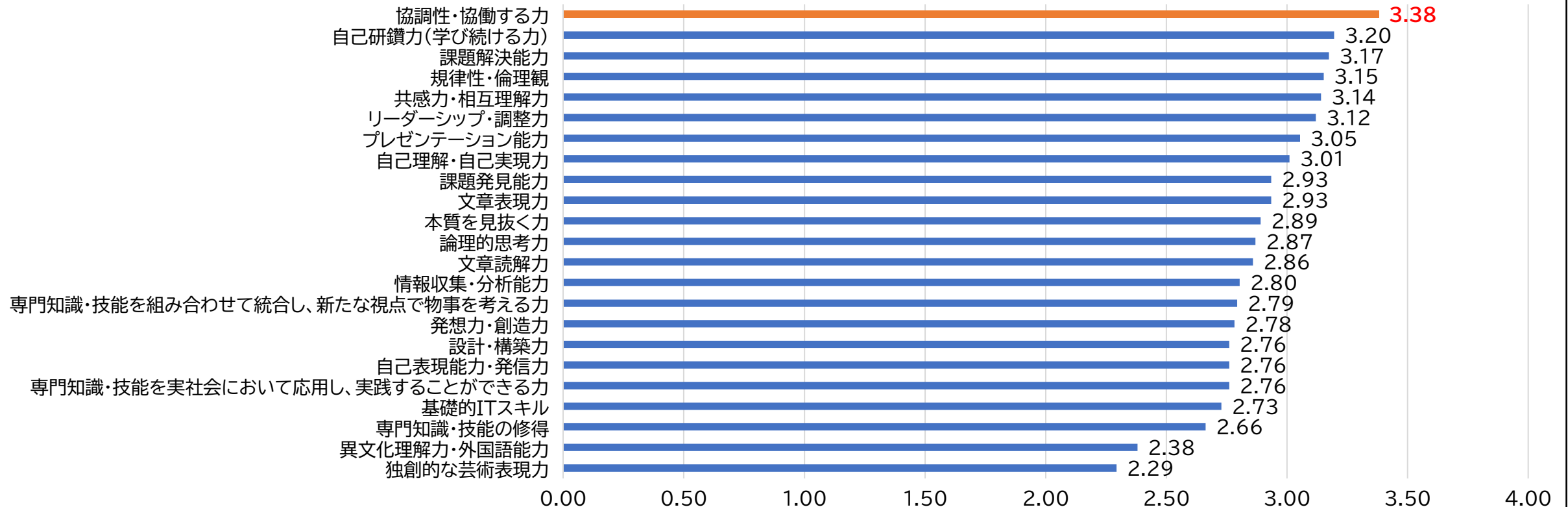
【概要】本学のDPのうち、企業が卒業生にもっとも身につけてほしい能力については、「協調性・協働する力」が3.38と平均値がもっとも高く、次いで「自己研鑽力(学び続ける力)」が3.20、「課題解決能力」が3.17となった。

Q7.以下の能力について、今後本学の卒業生にもっと身につけてほしい(伸ばしてほしい)と感じますか。もっともあてはまるものを選んでください。

〈各項目の平均値を算出〉

回答状況を1点から4点までに点数化し、回答数で除して、平均値を算出した。

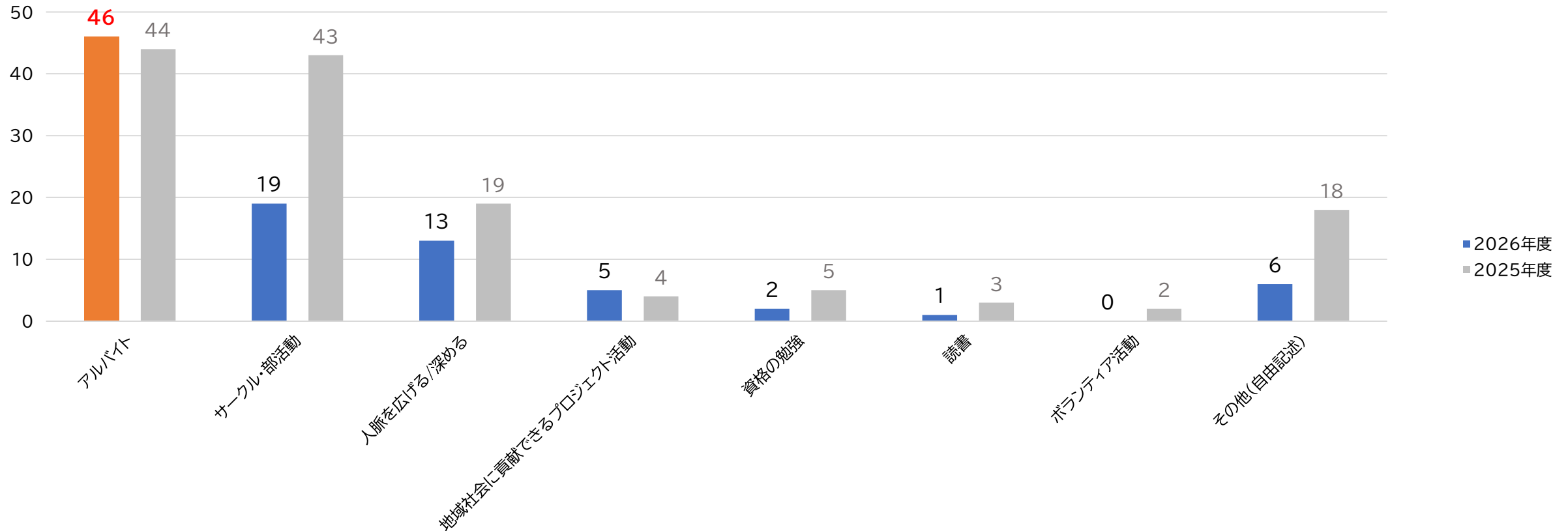
- 1点:まったくそう思わない
- 2点:どちらかというと思わない
- 3点:どちらかというと思う
- 4点:とても思う



就職先企業 【大学時代に経験しておいてほしいこと】

【概要】企業が学生に大学時代に経験しておいてほしいことについては、「アルバイト」が50.0%(46名/92名)ともっとも多く、次いで「サークル・部活動」が20.6%(19名/92名)、「人脈を広げる/深める」が14.1%(13名/92名)となった。

Q8. 新卒採用者に対して(本学卒業生に限らず一般的に)、学生時代に特に経験しておいてほしいと望む事柄は何ですか？
もっともあてはまるものを選んでください。



就職先企業【取得しておくことが望ましい資格】

【概要】学生が在学中に取得しておくことが望ましい資格については、「ITパスポート試験」が17.3%(16名/92名)と最も回答数が多く、次いで「MOS」が11.9%(11名/92名)、「日商簿記」が10.8%(10名/92名)となった。「ITパスポート試験」や「MOS」の取得は、特に「情報・通信」分野の職種で多く求められている。

Q9. 本学の卒業生が在学中に取得(勉強)しておくことが望ましいと感じる資格等があれば、選んでください。(複数回答可)

